



1月
9日

消防出初式



**無事故を願って
市内消防団が
天高く一斉放水**

市民ホール一帯で式典と訓練が行われ、消防団員など約500人が参加しました。式典では市長の祝辞や市議会議長などからの祝辞のほか、長年消防活動に功績のあつた人を対象に表彰などが行われました。訓練では消防団が「安全で安心なまちもりやまの推進を願って一斉放水を行い放水に沿って現れた虹の美しさとともに観客から拍手が送られました。」

1月
9日

琵琶湖で寒中稽古



**約40人が
冬の湖水に浸かり
気合いこめ稽古**

今浜町地先なきさ公園砂浜で、陰陽会北辰館の寒中稽古が行われました。比良山系の雪景色を背に、6歳から70歳代まで約40人が参加して、ランニングや型の稽古。仕上げは琵琶湖に浸かり、子どもたちも腰まで浸かつて、「こ」と気合いを入れながら入りました。市内の道場に通う参加者は「寒中稽古に来て1年をがんばる気持ちになります」と話していました。

1月
10日

第52回 成人式祝賀駅伝大会



**約400人が
新成人を祝って
駅をつなぐ**

成人の日に合わせて、市民運動公園一帯で開催されました。新成人の門出を祝おうと、65チーム約400人が参加しました。新成人の号砲で一斉にスタートした選手たちは、沿道の応援を受けながら走り、次の走者に棒をつないでいました。スターターを務めた新成人は「私も元氣よく成人式にふさわしいスタートを切りたい」と話していました。

1月
9日

小浜勸請吊



**縮小しても
800年の伝統
絶やさぬ**

小浜町で800年前から続くといわれる伝統行事「勸請吊」が営まれました。新型コロナウイルス感染症の影響により昨年に続いて事前に大しめ縄を作り、会食を取りやめるなど密を避ける工夫をしたながら、大日堂に集まった50歳以上の氏子男性32人が、長さ約15m・直径約20cmの大しめ縄を仕上げ、天満宮と八幡宮の両神社に奉納しました。



守山市の人口

令和3年12月31日現在
(前月比)

人口	84,980	(+ 76)
男	41,857	(+ 32)
女	43,123	(+ 44)
世帯数	33,813	(+ 27)



双眼鏡

1月は行く、2月は逃げる、3月は去る、とはよく言ったもの。年明けから早くも1カ月がたつてしまった。ことわざは年度終盤の春先のはずだが、どうも年月日の流れが早くなっている気がする▲この間までハイハイもできなかった息子が、今では立ち上がって机の上のリモコンを手には握り顔をしている。縄跳びがでさなかった娘は「あやとび何回跳べるか数えて」と言うようになった。子どもたちは着実に成長しているのが分かってうれしい半面自分はどうだけ成長できているのかと自問する▲ふと視線を下に移すと、私のおなか回りは分かりやすく成長していた。日々成長する子どもの自慢のパパでいられるように、「コロナ禍で運動不足の体に入れて、今年の目標「おいしいものを食べれば走る」を実践していこう。」(た)